



第64号

プラスチック 中部

平成19年6月14日
www.chubu-pla.or.jp

社団法人
中部日本プラスチック製品工業協会
愛知県プラスチック成形工業組合
〒456-0058 名古屋市熱田区六番三丁目4番41号
(名古屋市工業研究所管理棟4階)
電話(052)654-8155 FAX(052)654-8140
E-mail : info@chubu-pla.or.jp

社団法人 中部日本プラスチック製品工業協会

輝かしき創立50周年



これからの50周年記念事業

※11月14日（プラスチックの日）記念式典 会場：名古屋国際ホテル
記念講演会、チャリティーゴルフ・ボウリング大会
記念誌の発行などを予定しております。

— 皆様のご参加をお待ちしております。 —

原材料高騰への対応など提言

協会・組合が通常総会を開催

今秋に協会創立50周年記念式典

協会及び組合では、5月23日午後から名古屋国際ホテルを会場に18年度通常総会を開催。上程議案はいずれも異議なく承認された。

また総会の後には『第2回優秀従業員表彰』が挙行され、今回は推薦された9名が表彰を受けた。一方総会前の講演会では、こころ元気研究所の鎌田 敏所長を講師に招聘し、テーマ「商売繁盛・人生繁盛は、こころ元気から！」を聴講した。

組合の第43回通常総会は午後3時15分に開会。挨拶に立った後藤理事長は、設備投資とかデフレ懸念など一部に不安材料はあるものの、景気は順調に拡大し明るさを増している。相反し、中小企業では中々実感が伴わないが、愛知県は自動車産業を中心に好景気が続き、話題の名駅前は高層ビルが次々と建ち、今後の計画も進ん

でおり、益々活きづく「ものづくり愛知」の象徴となっている。

プラスチック業界では、原材料高、製品単価安などの悪条件下のなか、格差はあるものの繁忙で、人材不足という深刻な問題も浮上している。このような状況の中で、組合は「ものづくりは、人づくり」という原点に立ち活動を進めてきた。また各会社の現場では、高度技術者の不足が問題となっており、そこで昨年、名古屋市工業研究所との共同事業として、ものづくり基盤技術協働プログラムを立ち上げ、成形技術のマイスターづくりを目指している。

技能検定試験においても昨年は立派な成績を残し、射出成形の実技試験では765名が受検、その数は日本一を継続している。秋期の合同支部会でも会員企業の見学会で研鑽するなど、人材育成、人材教育には積極的に取り組んでおり、今後も益々力を入れて行きたい。

なお、下部組織の青年経営者研究会でも、会員増強を最大のテーマとして取り組んでいる現状を紹介。最後に今後の組合は、確実に問題を解決し“夢のある、魅力ある業界”として更なる発展をして行きたいと・結ばれた。

議案審議は、後藤理事長を議長に、18年度事業報告及び決算関係書類承認の件はじめ、利益処分（案）報告の件、経費の賦課徴収方法決定



通常総会会場

IZUMI プラスチック射出成型、家庭用品製造販売

“求められる商品を、いつでも、どこでも、
より良い品質で、より速く、より心をこめて”

和泉化成株式会社

〒491-0395
愛知県一宮市萩原町高木字五十歩1-4 <http://www.izumi-plastic.co.jp>
TEL. 0586-69-3131 FAX. 0586-69-5077 E-mail info@izumi-plastic.co.jp

三井トラストフィナンシャルグループ
中央三井信託銀行

名古屋支店 TEL.052-242-7311
〒460-0008 名古屋市中区栄3丁目15番33号栄ガスビル

の件、19年度事業計画及び収支予算（案）承認の件が順次審議され、いずれも原案通り承認された。

次いで開催された協会の第36回通常総会では、はじめに服部会長が挨拶。現在業界が直面している問題は、相次ぐ原材料の値上げと親会社からの厳しいコストダウン要請のふたつ。川上には大きな財源があるものの私達川下には中々流れてこないのが現実で、私達はお釈迦様の御慈悲に縋って、その掌で育てていただいている状況。大手レジンメーカー、大企業の親会社からのお慈悲があればもう少し私達も活力が出せると思う。美味しいお酒は呑めなくても、たまには暖かい日本茶を飲みながら明日の夢を語らい、未来について多くの方々と語らいを深めて行きたい。そんな中にもものづくり中部が、ものづくり愛知があるのではないのでしょうか。

今年は創立50周年を迎える。11月14日の記念式典では、半世紀に亘り先人達が残した足跡に対し、何を成し、何を考え、何を残すべきかを検討し、遂行していきたいと協力を要請した。

引き続き議長の席に着き議案審議へ、18年度事業報告、決算報告、19年度事業計画（案）、収支予算（案）は、原案通り異議なく承認された。



親睦が深められた懇親会

第2回優秀従業員表彰



優秀従業員被表彰者ら

総会後の『第2回優秀従業員表彰』では、服部会長が自ら各被表彰者の席の前で表彰を行った。この表彰式は、従来から実施している勤続年数を資格基準とした永年勤続優良従業員表彰とは別に、各職務に於いて企業の発展に寄与し、人物・技能ともに優秀な従業員を表彰し、勤労意欲の高揚と安定をはかり、企業並びに業界の発展を図ることを目的に実施された。今回の被表彰者は勤務先企業から推薦のあった9名（別掲）となった。

表彰の後には、来賓代表の中部経済産業局産業部鈴木秀和次長、愛知県産業労働部清水課長から祝辞があり更なる研鑽と、企業、組織の発展へのはなむけの言葉が贈られ、以上で閉会。会場を移動して開かれた懇親パーティーも盛況で楽しいひと時が過ぎされ、前回好評だった似顔絵コーナーも設けられ、人気を博した。

【優秀従業員被表彰者】

沼田 誠（ゴトープラスチック）、三島栄一（東海プラスチック工業）、中井辰美（オハラ樹脂工業）、蓑田愛彦（タツミ化成）、岡部憲治（和

第一実業株式会社

本 社 東京都千代田区二番町11-19 〒102-0084 ☎ダイヤルイン・東京(03) 5214-8500
 大阪支店 大阪市北区天満5丁目14番10号(梅田UNビル) 〒530-0047 ☎ダイヤルイン・大阪(06) 366-2800(受付案内台)
 札幌支店 札幌市中央区南一条西3丁目8番地(礼石ビル) 〒060-0061 ☎(011)241-2435(代表)
 名古屋支店 名古屋市中区錦2丁目3番4号(名古屋駅前フロントタワー) 〒460-0003 ☎(052)201-5471(代表)
 広島支社 広島市中区中町8番12号(広島グリーンビル) 〒730-0037 ☎(082)248-0295(代表)
 営業所 仙台・静岡・四国・福岡
 出張所 滋賀・北関東

生 産 設 計
それぞれの生き方に、
いつもベストな答え方。

一生のパートナー
第一生命

人生を力強く生きていくための保険。

新「堂 堂 堂 堂」

5年ごと利差配当付更新型終身移行保険
(5年ごと配当タイプ)

<http://www.dai-ichi-life.co.jp/>

泉化成)、中嶋修治(タイセイプラス)、高梨
勲(山勝工業)、小野英憲(ヤマコー)、近藤久
夫(タカラ化成工業)。(敬称略)

記念講演会熱心に聴講

総会前の講演会で鎌田講師は、モットーは「一期一会」。出逢い、節目について話し、また誰しも願うのが『幸福』で、幸は偶然もたらされたしあわせを意味し、福は日々の努力、心の持ち方でしあわせを引き寄せることを意味するなどを説明。この後、“元気”をキーワードに講演を続けた。なお、要旨は別掲。

講演要旨

『こころ元気から!』

こころ元気研究所所長 鎌田 敏氏

鎌田氏は、コンサルタント会社、広告代理店を経て独立し、「こころ元気研究所」を設立。現在は全国各地で、「楽しく」「分かり易く」「ためになる」をモットーに、日本の元気と活力のために“一隅を照らす”べく熱く講演されている。講演当日は“よもやま話”を交えながら次のように語られた。

企業活動にとって避けねばならないトラブルの発生源には、日常の小さなヒューマンエラーがあります。だからこそ社員一人ひとりの「積小為大」というコツコツ丁寧な仕事に対する精神が求められているのです。

そして、人生における全ての事は、先ず「こころ元気」から始まります。商売においても然りです。こころ元気な積極的な人生の態度が、商売・経営を好転させる出発点となるのです。



ユニークな弁舌で話を進める鎌田講師

「利は義の和なり」と言います。真心を以て、お客さまに喜んでいただく、お役に立つ、社会に貢献する…これが商売の正道(義)であります。正しい商道は「信」(信用・信頼)により確立され、「信は義の本」という言葉もあります。この態度こそ、「一隅を照らす」精神です。自分の与えられた場所で、自分の仕事を通じて、その片隅を照らし出していく。そこで得られたお客さまからの「ありがとう」という言葉が、仕事に対するモチベーションを高めてくれる。本当の生き甲斐、仕事のやり甲斐はそこにあるのです。

また「お客さまは神様です」と言いますが、一方で見方を変えれば「一隅を照らす」精神で日々真心を以て商売に精を出されている方々のおかげで多くの人々が安全、安心、豊かな暮らしが営んでいるのです。このことに誇りと気概を持つことが大切なのです。これは、まさに「こころ元気」な商売に対する積極的な態度なのです。

様々なストレスシャワーで心が萎えてしまっ
てはいけません。心が不健康であることは商売の最大の敵でもあります。ストレスマネジメントとして、例えば「調身」(姿勢を正す)・「調息」(深い呼吸)による「調心」(平常心)なども大切な知恵であります。

「念ずれば花ひらく」。心に思う事は表面に出てきて、それはヤル気となり目つき顔つきが変わり、行動が伴います。前にむかって一步一步進んで行くことこそ、心の充実感が得られるのです。



TOYO

東洋機械金属株式会社

中部支店

〒465-0051 名古屋市名東区社ヶ丘1-1202
TEL (052)704-4500 FAX (052)704-3980

重点課題は事業承継対策

連合会第46回通常総会

原料メーカーと意見交換会も実施

全日本プラスチック製品工業連合会第46回通常総会が6月7日午後3時から、名古屋国際ホテルで開催された。今年は当協会が担当し、当協会からは11名が出席、全体で36名が出席した。

最初に山田会長から「我々を取り巻く環境は原材料の再度の値上げなど非常に厳しいが、業界のため連合会として出来ることから実行していきたい」と挨拶があった。

出席者数の確認、議長選出、議事録署名人指名に続き第1・2号議案平成18年度事業報告・収支決算報告、第3号議案収支差額処分方法案が承認された後、第4・5号議案平成19年度事業計画・収支予算案が原案通り可決承認された。中でも中小企業事業承継対策として税制の問題や公益法人制度改革への対応を重点に取り組む。

総会の後、原料メーカーとの意見交換会が行われ、住友化学ポリエチレン事業部包材部松田課長から現在の原料事情について説明を受けた。



議案審議が行われる総会会場



プラスチック用産業合理化機器メーカー

NAKAMURA

中村科学工業株式会社

本社工場 Head office & Factory

〒444-0951 愛知県岡崎市北野町字高塚101
TEL(0564)31-2919
FAX(0564)31-9435

東京支店 Tokyo branch

〒192-0054 東京都八王子市小門町8-37
TEL(0426)20-5486
FAX(0426)20-5461

URL <http://www.nakamurakagaku.co.jp/>

質疑応答では厳しい質問が相次いだ。

懇親会では服部副会長の乾杯で祝宴となり、和やかに歓談が進むなか、齋藤副会長(東日本)の中締めで閉宴となった。

羽場光明会長を再任

富山県プラスチック工業会通常総会

県内大学にプラ成形関係の学部設置要望

富山県プラスチック工業会第46回通常総会が、富山第一ホテルで5月31日午後4時から開催され、羽場光明会長が再任された。

総会は齋藤副会長が議長を務め、平成18年度事業報告並びに収支決算報告、平成19年度事業計画・収支予算案が滞りなく承認可決された。

今総会で規約の改訂案が提出された。変更理由は将来工業会を公益法人化するための準備であるとの説明であった。

最後に役員改選が行われ、副会長に当協会会員の高陵プラスチック工業の取締役社長高橋秀樹氏が再任され、阪神化成工業の取締役社長高田順一氏が新たに就任した。

今年度の事業として興味をひかれたのは、県内大学にプラスチック成形関係の学部を設置しようとする試みである。この先どんな進展があるか注目したい。

総会終了後、記念講演会が開催され、元富山大学工学部長の宮下尚氏による「省エネルギーと環境について」と題して講演があった。



通常総会会場 壇上は齋藤副会長

課外授業で貴重な体験

中部日本プラスチック職業訓練校

2007三菱電機プライベートショウ見学

中部日本プラスチック職業訓練校は「金型の構造」の授業で、5月25日の午後から三菱電機名古屋製作所を訪れ『2007三菱電機産業メカトロニクスショウ』を見学をした。

当日は、黒部文人先生の引率で訓練生六名が参加した。会場では放電加工機、レーザ加工機、産業用ロボット並びに数値制御装置をはじめとした、産業メカトロニクス製品の数々を目の当りにし、その高度な技術に驚きながらも知識の向上に努めた。また、金型に関する講演会を熱心に聴講した。

参加者から提出されたレポートの一部を次に紹介する。



最新技術が紹介された展示会場

見学レポート

〈鈴木化学工業所 K.I〉

2007年5月25日、金型の構造の講義にて三菱電機産業メカトロニクスプライベートショウへ

足を運んだ。今回の産業メカトロニクスプライベートショウに行った狙いは金型がどのような機械で製作され、どのような段階で作成されているのかなどを知るためだ。

実際に三菱電機の機械の説明を受けても、基礎知識のない私には何を言っているのか解らないことが大半だった。しかし、作成されている製品や作成された製品を実際にこの目で見ると驚きの連続だった。例えば微細コネクタコアピンの加工だ。先端0.15×0.45mm、長さ3mmが正確に刻まれている姿は目を近づけるまでそれがクシ状になっている事に気がつくことが出来なかったし、このクシ状をゼロコンマの世界で行うことが可能なことに唖然とするばかりだった。宣伝用ポスターに書かれていたキャッチフレーズ、「小さいって大きい」という言葉は改めて感心できる言葉だと感じた。

今回の三菱電機産業メカトロニクスプライベートショウは知識のある社会人が挙って訪れていたように見える。知識があって初めてその凄さに気がつくと思う。そして何が凄いかわからない恥ずかしい思いをしたので、前向きに勉強していこうと考えさせられるようになった。

金型を作成する仕事をするわけではないが、少なくとも金型を使用する会社に入ったのだから金型の構造についてまじめに取り組んでいく。

〈瀬川化学工業 N.K〉

三菱電機名古屋製作所で催された「2007三菱電機産業メカトロニクスプライベートショウ」に行ってきた感想と学んだことを報告いたします。

5月25日の午後の授業として行ったのですが、一つ一つの機械がすべて大きくてビックリしま

成形不良率低減への提案

「ハングリー成形法」

株式会社 日本油機

〒229-0011 神奈川県相模原市大野台6-3-40
TEL 042-757-6681 FAX 042-757-6683
E-mail:nihonyuki@sunny.ocn.ne.jp

MEIKI

株式会社 名機製作所

〒474-8666 愛知県大府市北崎町大根2
TEL (0562)47-2391(株) FAX (0562)47-2395
<http://www.meiki-ss.co.jp>

した。主に見てまわったのは案内表の青色にぬられている箇所、3箇所とも展示している機械の名前はすべて難しく覚えられなくて頭の中が混乱していました。でも少しだけ知っていた言葉「ブリリアントカット」という言葉を目にしてうれしかったです。

レーザー加工機にはいろいろな種類があり、いろいろ難しい材料を使って難しい加工品を早く造ってしまうことにはおどろきました。そしてその機械を自由自在に操る人をすごく尊敬しました。そのような人が自分が見たかぎりでは各機械のすぐそばにいろいろな説明してくれてすごくありがたかったです。

〈感想〉自分はこのような博覧会といわれる会場に、初めて行かせていただけてすごくいい体験をさせていただきました。しかも自分が働いている会社以外の会社、それも大きな会社の見学もできてすごくよかったです。今後もうすこしいろいろなことを勉強して、今の仕事をレベルアップさせていきたいと思いました。

〈グランツ K.O〉

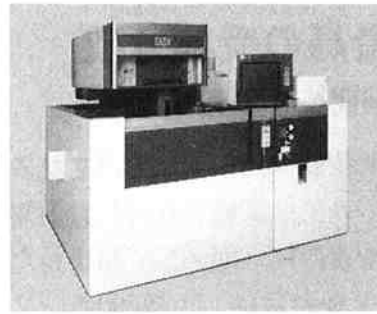
今回の見学で強く印象に残っているのは、次の3つ。

▽レーザー加工：レーザーを使用して3次元の金属物をプリンターで絵を描くように加工を行っていた。

▽ワイヤー放電加工：ワイヤーからの放電により糸鋸で木工製作するように金属加工を行っていた。

▽形彫放電加工：レーザー、ワイヤー放電とも異なり彫刻するように金属加工を行っていた。

今回、金属加工を見学するのが初めてのことで、この技術が以前からどのように変わってき



展示会で注目を集めていた「新型高精度ワイヤ放電加工機」
Advance

たものか、世界レベルでの日本の金属加工技術はどうであるのか、判断材料がなく残念であるが大変興味をそそられた。唯、いくら機械技術が進歩しても、やはり人間の職人技術にはかなわないであろうと想像をする。

〈鈴木化学工業所 T.S〉

金型を製作するのにあのような機械を使用しているとは思っていませんでした。最初は何の為の機械かよくわからなかった。あんな細い糸で分厚い鉄板が切れるのにも驚いたが、精密さもすごかった。正直、まだ金型のことがあまり理解できていないので、ひと通り回ってみてもいまいちよくわからないままだったのだけど、今の技術はすごいと思った。

ワイヤ放電加工機にUSBメモリ用のポートがついていて、これ一台あれば現場でなんでもできるようなものもあった。手で人間が製図するよりも機械の力を借りて製図したほうが、作業も早くできるし正確なものができる。唯、こんなにコンピュータが進歩しているとは思っていませんでした。

金型について理解できていれば、興味深い産業展だったと思うだろうけれど、よくわからないままで大したことが書けませんでした。これから少しずつ理解していきたいと思っています。

PLASTICS WORLD
YAMASO
山宗株式会社

本社 名古屋市北区大曾根1-6-28 〒462-0825
TEL(052)913-6131 FAX(052)913-6138
東京支店・静岡本社・福井本社・香港・上海

営業所 岐阜・三重・豊橋・松本・甲府・埼玉・西東京
取手・浜松・沼津・金沢・富山・大分・京浜

NISSEI
日精樹脂工業株式会社

■名古屋営業所 / 〒485-0039愛知県小牧市外堀2-167 ☎(0568) 75-9555(代)
■岡崎出張所 / ☎(0564) 52-1430 ■三重出張所 / ☎(059) 224-0716

■本社・工場 技術研究所 / 〒389-0693長野県埴科郡坂城町南条2110
●http://www.nisseijushi.co.jp

過去最高の受検者数

19年度前期技能検定実技試験

平成19年度前期技能検定1・2級（プラスチック・射出成形）の実技試験が6月11日愛知県立名古屋高等技術専門校（南区）で始まった。

今年度の実技受検者数は、1級290名、2級499名合計789名で、昨年比24名増となり過去最



検定委員の説明を聞く受検生ら

	学科講習会	
日時	平成19年7月29日（日曜日）	
	午前9時30分～午後4時30分	
場所	(社)名古屋中小企業福祉会館6階ホール 名古屋市中区大須2丁目19番36号(大須観音東側) TEL (052) 221-6721	
講習内容	・学科試験受験要領と心得 9:30～10:00 ・模擬試験 10:00～12:00 ・昼食 12:00～13:00 ・模擬試験の解説と質疑応答 13:00～16:00 ・担当講師 中部日本プラスチック職業訓練校 講師 林盛彦先生 ・模擬試験の採点結果発表 16:00～16:30	

高の受検者数を更新した。

受検者増により昨年同様2級を1日3人受検させ、2級終了後1級を実施する日程となった。それでも9月7日までの65日間の日程となる。

今年は製品検査・採点会議を9月12日に名古屋市工業研究所に会場を変更して実施する。

また、8月26日に学科試験が行われるため、7月29日の日曜日に学科講習会を開催する。(詳細は別記参照)

中部日本プラスチック職業訓練校 養成・向上訓練合同入校式

愛知県認定中部日本プラスチック職業訓練校の平成19年度養成・向上訓練合同の入校式が4月20日名古屋市工業研究所第2会議室で開催された。服部校長及び列席された講師の先生方より励ましの言葉が贈られた。

式の後事務局より今後一年間の訓練のスケジュールや注意事項などの説明があり、教科書が配布された。

養成訓練は午後からプラスチック概論の授業が行われた。今年度は、養成訓練6名、向上訓練(通信制)1級14名、2級47名でスタートした。



壇上は入校式で挨拶する服部校長

工業薬品・合成樹脂・食品添加物・包装材料



陸物産株式会社

〒450-0002

本社：名古屋市中村区名駅5丁目23番5号

TEL 052-571-5121(代) FAX 052-565-0346

支店：東京・大阪 営業所：静岡

ISONO

いそのプラスチック材料

有限なる資源を限りない人生の幸福のために

いその株式会社

名古屋市東区相生町55 〒461-0012

TEL (052) 931-1211(代)

FAX (052) 930-1975

新会長に尾崎浩一氏が就任

青年経営者研究会第32回通常総会

会員増強に傾注し活動展開へ



会員増強が前面に打ち出された総会会場

青年経営者研究会の第32回通常総会が4月17日午後5時から名古屋国際ホテルで開催された。

初めに石原会長より就任一年間を振り返って挨拶があった。

続いて出席状況の報告、精神斉唱の後石原会長が議長を務め、第1・2号議案の平成18年度事業報告・決算報告の審議に入り、原案通り承認可決された。次に役員改選が行われ、賛成多数で尾崎浩一氏（㈱オプコ代表取締役）が新たに会長に選任された。

就任挨拶の中で尾崎新会長は、今年は何が何でも会員を増やしたいと固い決意を述べた後、尾崎議長のもと第4・5号議案平成19年度事業計画案・予算案の審議に移り、原案通り承認可決された。

議事終了後、来賓を代表して名古屋市工業研

究所所長の山下菊丈様から祝辞をいただき、「今年度から地元中小企業の皆さんとの連携を、より一層強めるため組織を大幅に変更しましたので、今まで以上に研究所を利用していただきたい」と言葉があった。

総会終了後会場を移して懇親会を開催し、愛知県産業技術研究所野口材料技術室長の発声で乾杯、和やかな歓談のなか組合の後藤理事長の中締めで閉会となった。

【新入会員紹介】

大森 晃（松栄工業所・第3支部）、宇佐美義則（ウサミ化成・第6支部）、児玉真弥（三扇化学・第5支部）、久留健司（化研・第5支部）
（敬称略）



祝辞を述べる名古屋市工業研究所山下所長。

BLOW MOLDING

ゴトープラスチック株式会社

代表取締役 後藤 壽夫

〒452-0838 名古屋市西区長先町59番地
TEL (052)502-7671
FAX (052)502-6451
Mail; t.goto@goto-plastic.co.jp

株式会社 三幸商会

取締役社長 若尾 敬

名古屋市千種区内山三丁目3番2号 〒464-0075
TEL (052)733-5111(代) FAX (052)733-5141

SANKO SHOKAI CO.,LTD.

3-3-2 Uchiyama, Chikusa-ku, Nagoya, Japan
TEL (052)733-5111 FAX (052)733-5141

会長就任挨拶

株式会社 オプロ
尾崎浩一



本会は32年の歴史を経て、愛知県プラスチック成形工業組合の後継者を軸に集い、会の精神・目的を柱に活動して参りました。その内容は毎年会長方針に基づき若干の違いはありますが、会の精神である「切磋琢磨」の場として、目的を会員の資質・成人意識向上、企業・業界の発展、総合理解、リーダーシップの養成を軸に活動しており、巣立っていかれた方には協会・組合の歴代会長を歴任された方、更には業界を超えた場で活躍されている方々の初期学びの場としてあります。

入会資格としては、当団体に在籍する会社の継承者及び取締役を主にした正会員、賛助会員となる準会員、OBで構成する特別会員からなり、毎年総会・工場見学・各種研修会・講演会・親睦会・理事会を開催し、有意義な情報交換や業界発展に努めて、その事で個々の絆が育まれてきました。

会の運営は「人」が基本であり、そこに集う方達により充実するものです。その意味で、本会にご興味がある方やご紹介頂ける方がお見えになる場合は、是非事務局へご一報頂けると幸いです。よろしくお願い致します。

瑞宝単光章を受章



大同ゴム工業(株)
代表取締役社長
水野直幸氏

4月29日付で発表された春の叙勲で、正会員大同ゴム工業(株)代表取締役社長水野直幸氏が瑞宝単光章を受章した。

5月8日愛知県庁での伝達式、11日には皇居での拝謁式にそれぞれ出席した。

同氏は昭和56年に愛知県職業能力開発協会より技能検定委員に委嘱され現在まで27年間技能検定の推進に尽力し、その功績が認められ今回の受章となった。また、昭和63年から現在に至るまで協会・組合の理事・監事を務め業界の発展に尽力した。

平成4年に愛知県知事表彰、12年に厚生労働大臣表彰を受賞している。

青年会19年度新役員

▽会長 = 尾崎浩一 (オプロ)。

▽副会長 = 川西正克 (川西塗装)。

▽理事 = 鷺見圭一 (鷺見化工) (会計担当)、盛田秀一 (金城化工) (書記担当)、井上登永 (大喜プラスチック工業所)、立木繁 (則武化学)、中村公彦 (大京化学)、山崎宏文 (タツミ化成)。

▽監事 = 石原武志 (東海プラスチック工業) (敬称略)

取出用ロボット・FAシステムの総合開発

STAR

株式会社スター精機
名古屋支店

〒480-0132 愛知県丹羽郡大口町秋田3-133

TEL 0587(95)7557 FAX 0587(96)1291

浜松営業所/〒433-8108 静岡県浜松市機洗町288 ☎053(437)5951 ☎053(437)5622

本社・工場/〒480-0132 愛知県丹羽郡大口町秋田3-133 ☎0587(95)7551(代)

出雲工場/〒699-0631 島根県鹿川郡斐川町大字道江町3538 ☎0853(72)4311

技術とハートがスパークする

ドラマチック創造企業

プラスチック、セラミックス、MIM金型



株式会社 三洋製作所

本社工場 名古屋市緑区鳴海町下汐田177番地

TEL 052-621-5238 FAX 052-621-3501

山陽化工株式会社

私たちは世界中に同じ製品をご提供します。



弊社は創業よりプラスチックの着色加工を基幹事業とし、近年主軸となりますコンパウンド事業の拡充を技術面・設備面におきまして資源の集中に努めております。

また弊社は本事業に誇りを持ち、将来に向けまして夢の持てます事業体への変革へ柔軟に取り組み、着色コンパウンド事業でのグローバル企業を目指すと言う強い信念を持って今後とも取り組んで参ります。

名古屋営業所開設のご案内

この度名古屋地区の更なる営業強化を目的としまして営業所を下記の通り開設することと致しました。

中京地区の市場の重要性を考えます時改めて営業所員を常駐させ、活動させて頂きたく存じ上げます。

一層のご支援ご愛顧のほどを賜りたくお願い申し上げます。

名古屋営業所

住所： 〒460-0007 愛知県名古屋市中区新栄2-1-18 606号

携帯電話： 090-4000-9370 (高瀬)

FAX番号： 052-249-9834

e-mail： y-takase@sanyo-kako.co.jp

URL： <http://www.sanyo-kako.co.jp/>

・山陽化工(株)製品紹介 ～ UNIMASTERスタンダードエイト～

Red	Orange	Yellow	Green
Blue	SkyBlue	Violet	Gray

山陽化工が提案するPOM(ポリアセタール)・PBT(ポリブチレンテレフタレート)用の小Lotにも対応が出来るエンプラ用マスターバッチです。

- ・ご注文は最小ロット1kgより対応致します。
- ・POM、PBT各8色を常時在庫しておりますので、御依頼日の翌日には出荷致します。
- ・希釈倍率は全て25倍品にしてありますので、希釈樹脂1袋(25kg)に対して“スタンダードエイト”を1kg投入して頂ければ結構です。

(現在NYOLN用を開発中)

19年度 第1回支部会開催

平成19年度第1回支部会が、ゴールデンウィーク明けの5月10日から順次開催された。

- ・第1支部 = 5月11日、会場「会集」
出席8名
- ・第2支部 = 5月10日、会場「賀城園」
出席5名
- ・第3支部 = 5月12日、会場「南山C.C」
出席7名
- ・第4支部 = 5月16日、会場「みかど」
出席11名
- ・第5支部 = 5月11日、会場「栄太郎」
出席7名
- ・第6支部 = 5月11日、会場「賀城園」
出席8名
- ・第7支部 = 5月14日、会場「朝熊」
出席9名
- ・第8支部 = 5月10日、会場「喜久鮎」
出席8名

業界レポート

[協会・組合の動向]

▼協会第36回通常総会

▼組合第43回通常総会

5月23日（名古屋国際ホテル）

〈詳細は本文を〉

▼文化広報委員会

5月15日（名古屋市工業研究所） 8名

- (1) 第63号の反省。
- (2) 第64・65号の企画、方針を検討。総会特集など。
- (3) 協会50周年のPRを検討、盛り込む。
- (4) その他。

▼技能検定委員会

4月26日（名古屋市工業研究所） 15名

- (1) 前期技能検定実技試験実施について。

[全日本プラスチック製品工業連合会]

▼総務委員会・事務局会議

5月8日（事務局会議室） 2名

- (1) 理事会提出議案について

▼理事会

5月11日（西日本プラスチック製品工業協会） 8名

- (1) 平成18年度第46回通常総会議案について

▼プラスチック成形技能検定推進協議会

5月23日（八重洲富士屋ホテル） 1名

- (1) 第58回理事会、第30回通常総会
- (2) 前期技能検定実技試験水準調整推進会議

▼第46回通常総会

6月7日（名古屋国際ホテル）

告知板

【入会】

▽正会員 第5支部

(株)化研 代表取締役 久留利弘

〒485-0016 愛知県小牧市間々原新田宮前626-1

TEL<0568>72-9301 FAX<0568>72-0158

▽賛助会員

(有)美影企画 名古屋支店 支店長 有馬光二

〒492-8272 愛知県稲沢市桜木1-1-27

TEL・FAX<0587>24-9007

【社名変更・本社移転】

▽正会員 第8支部（第4支部より移動）

ISK(株)（旧 石川金型(有)）

〒446-0008 愛知県安城市今本町長根118-1

TEL<0566>97-2030 FAX<0566>97-2053

愛知県プラスチック成形工業組合が平成2年に設立した

ゆたかな老後の生活を守る

愛知県プラスチック成形厚生年金基金

名古屋市中区新栄町2丁目13番地

(栄第一生命ビル)

TEL (052) 953-8411

FAX (052) 953-8417